学校番号	１１２

令和８年度　家庭科

教科	家庭	科目	生活文化	単位数	２単位	年次	３年次
使用教科書	家庭基礎　自立・共生・創造　（東京書籍）						
副教材等	家庭科５５デジタル＋　（教育図書）						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

学習内容について自分の生活と結びつけて考えることで、今一度自分自身の生活を振り返り、生活を改善、創造していく力を身につけましょう。

2　学習の到達目標

【知識及び技能】
家庭基礎や生活科学で身に着けた家族・家庭、衣食住、消費や環境などについて理解しているとともに、それらに係る技能を身につけている。

【思考力、判断力、表現力等】
生活の中から問題を見出して課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを根拠に基づいて論理的に表現するなどして課題を解決する力を身につけている。

【学びに向かう力、人間性等】
課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、自分や家庭、地域の生活を創造し、実践しようとしている。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	生活を主体的に営むために必要な家族・家庭、衣食住、消費や環境などについて理解しているとともに、それらに係る技能を身につけている。	生涯を見通して、家庭や地域及び社会における生活の中から問題を見出して課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを根拠に基づいて論理的に表現するなどして課題を解決する力を身につけている。	様々な人々と協働し、よりよい社会の構築に向けて、課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、地域社会に参画しようとするとともに、自分や家庭、地域の生活を創造し、実践しようとしている。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元（題材）の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
1学期・2学期	保育分野	・乳幼児の発達 ・年中行事について ・妊婦体験 ・離乳食実習 ・保育実習用名札製作 ・保育実習	a:乳幼児期の心身の発達と生活について理解し、保育者としての子どもへの接し方について理解している。 b: 子どもの健やかな発達のため親や家族の果たす役割や地域社会の果たす役割の重要性について問題を見出して課題を設定し、課題を解決しようとする力を身につけている。 c: 様々な人々と協働し、よりよい社会の構築に向けて、子どもの生活と保育について、課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、生活を工夫し創造し、実践しようとしている。	定期考査 作品制作	定期考査	学習状況 プリント記述 レポート
2学期・3学期	食生活	・食品加工実習 ・調理実習 ・調理学・食品学 ・調理実習 ・献立作成実習	a:食品の栄養的特質、調理上の性質について理解している。 b: 食品の調理上の性質について問題を見出して課題を設定し、課題を解決しようとする力を身につけている。 c: 様々な人々と協働し、よりよい社会の構築に向けて、食生活と健康について、課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、生活を工夫し創造し、実践しようとしている。	定期考査	定期考査	学習状況 プリント記述 レポート
3学期	経済生活・消費生活	・キャッシュレス経済 ・預貯金と投資 ・社会保険料と税金 ・雇用、働き方について	a:契約の重要性や消費者保護の仕組み、生活における経済と社会との関わりについて理解している。 b:ライフステージや社会保障制度などと関連付けて、生涯を見通した生活における経済の管理や計画の重要性について問題を見出して課題を設定し、課題を解決しようとする力を身につけている。 c: 様々な人々と協働し、よりよい社会の構築に向けて、経済の計画や消費行動と意思決定について、課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、生活を工夫し創造し、実践しようとしている。	定期考査	定期考査	学習状況 プリント記述

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度